

メーカー名 長野工業

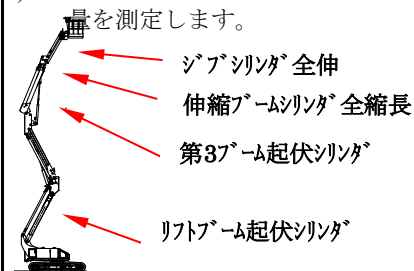
適用範囲		モデル名			NUS18uj
		適用号機又はスペック番号			18NS0051～
区分	検査箇所	運用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1500±50
			ハイアイドル	min ⁻¹	1900±50
		弁すき間	吸気弁	mm	0.18～0.22
			排気弁	mm	0.18～0.22
		圧縮圧力	MPa/min ⁻¹ (kgf/cm ²)	2.95～3.23 30.1～32.9	
回転速度	min ⁻¹	290			
走行装置	履帯 クローラベルト	鉄シュー	張り(たわみ量)※5	mm	145～155
			クローラリンクピッチ (4リンクピッチ)※8	mm	154
	走行ブレーキ	制動距離		m	－
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	11.5
作業装置	ブーム	スライディング パット部ガタ	上下方向	mm	1
			左右方向	上側	mm
		下側		mm	1
		スライディングパット摩耗量		mm	2
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧	首振り側	Mpa (kgf/cm ²)	19.0±1 (194±10)
			走行側	Mpa (kgf/cm ²)	29.4±1 (300±10)
		ポンプ回転数	低速	min-1	1500
			高速	min-1	1900
		※作動油		－	VG32
		油温		°C	40±10
	油圧シリンダー	自然降下量※1	起伏	mm/10min	2以下
			伸縮	mm/10min	2以下
			平衡装置	mm/10min	2以下
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作業角度	前後	°	3.0±0.5
			左右	°	3.0±0.5
	走行停止規制	作業床高さ		m	0.7±50以下/5±0.5以上
		ブーム伸縮		－	－
	高速走行規制	作業床高さ		m	2.6以上
		ブーム伸縮		－	格納以上
作業範囲規制装置	作業範囲規制 ※9		－	－	
	モーメントリミッタ ※9		－	－	

クローラ式(内燃機式)

適 用 範 囲		モ デ ル 名		NUS18uj	
		適用号機又はスペック番号		18NS0051～	
区分	検 査 箇 所	運用項目 ※測定条件、方法	単 位	検 査 基 準 値	
総 合 テ ス ト	作業速度 測定方法※2	起伏(リフト)	上	s	40±8
			下	s	40±8
		伸縮	伸	s	38±8
			縮	s	48±8
		旋回	右	s	90±10
			左	s	90±10
		バスケット首振	右	s	15±6
			左	s	15±6
		走行	2 速	km/h	3.3±0.2
			高	km/h	1.8±0.2
低	km/h		1.0±0.2		

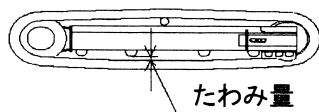
※1、ブームシリンダー-自然降下量測定

- 1、伸縮ブームシリンダーを全縮長にします。
- 2、各ブームシリンダーを最伸長にします。
- 3、そのままの姿勢で10分間放置しシリンダーの縮みを測定します。

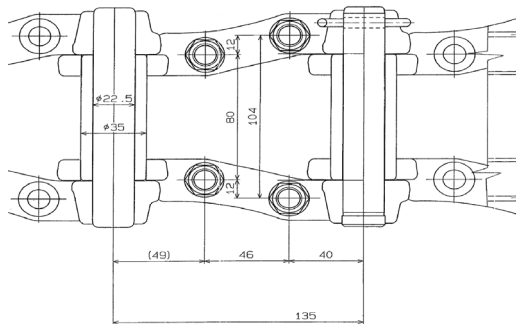


※5、クローラ張り調整

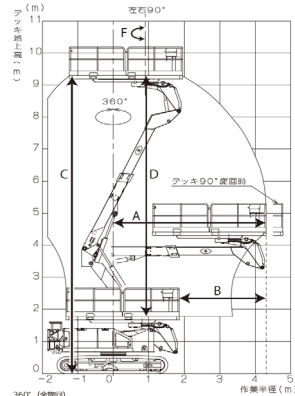
- 1、クローラを地面から浮かせて下さい。
- 2、クローラの中央部に最も近いトラクローラ下面とクローラの転動面との間隔（たわみ量）を測定します。
- 3、たわみ量が規定値となる様にアジャストシリンダーの



※8、クローラリンクピッチ

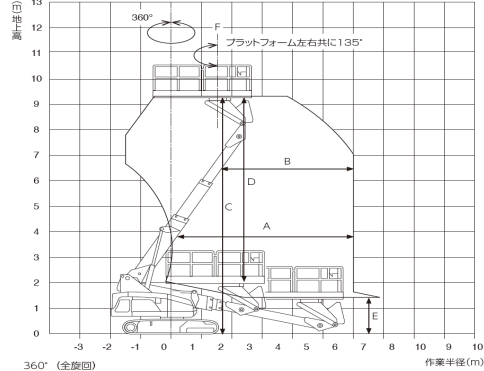


※9、作業範囲規制 NUZ09A-6



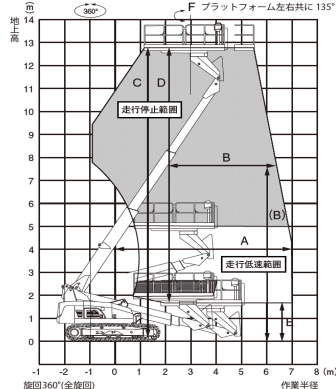
1. 作業範囲図は、ブームのたわみは考慮されていません。
2. 作業範囲図は、360度どの方向でも同じです。
3. 作業範囲図は、水平整土上におけるものです。
4. カウンタウエイトは、必ず所定の位置に取り付けてあるものとします。

※9、作業範囲規制 NUZ09uj



1. 作業範囲図は、ブームのたわみは考慮されていません。
2. 作業範囲図は、360度どの方向でも同じです。
3. 作業範囲図は、水平整土上におけるものです。
4. カウンタウエイトは、必ず所定の位置に取り付けてあるものとします。

※9、作業範囲規制 NUZ13uj



1. 作業範囲図は、ブームのたわみは考慮されていません。
2. 作業範囲図は、360度どの方向でも同じです。
3. 作業範囲図は、水平整土上におけるものです。
4. カウンタウエイトは、必ず所定の位置に取り付けてあるものとします。